

# とよがら

第214号  
平成29年6月1日  
宇都宮市立  
中央図書館  
東図書館  
南図書館  
上河内図書館  
河内図書館

読めば  
愉快だ  
宇都宮  
UTSUNOMIYA

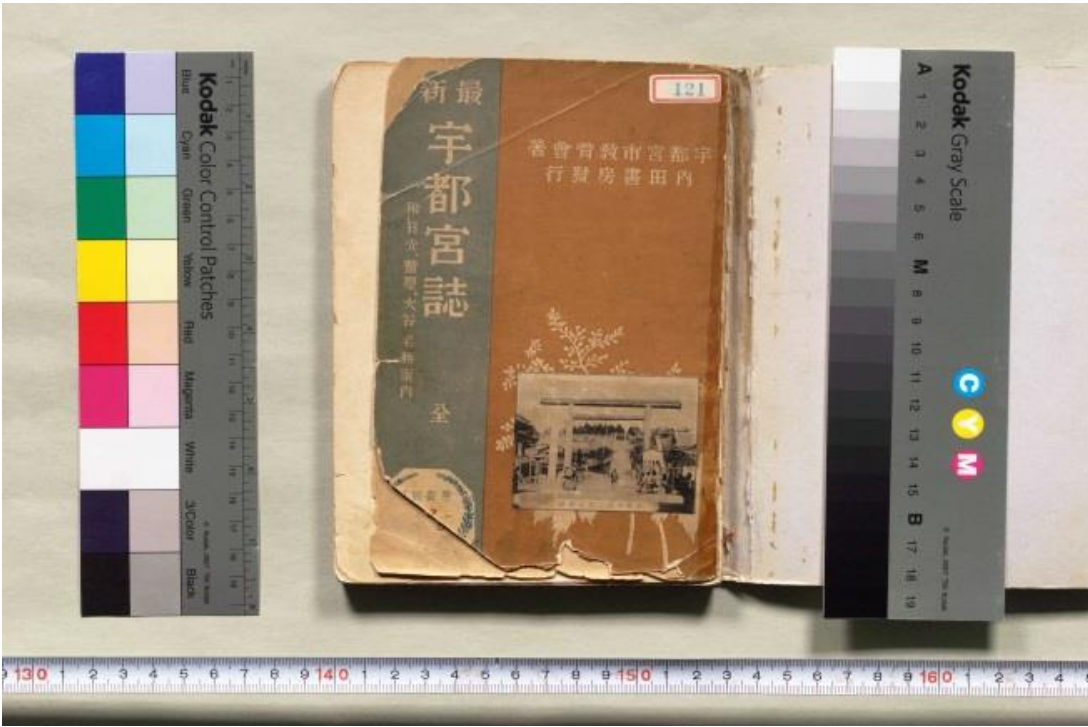


写真1 ページが外れた古い図書

(上)  
デジタルデータとして  
生まれ変わった図書  
…詳細は2面をご覧ください



写真2 古文書類の虫干しの様子

虫干しや修理を行っていても、劣化は完全には防げない

## 第214号の主な記事

- 1面 デジタルアーカイブ・読書生活
- 2面 次世代へつなぐデジタルアーカイブ・子どもフェスティバル・図書館のしごと
- 3面 図書館サービスあれこれ・調べ方のツボ
- 4面 しせつめぐり・第2回栃木県立がんセンター

患者図書室「こやま文庫」

## 読書生活



古文書を読む会代表  
佐藤 慶

### 灯台下暗し

沖繩へ転動した時のことである。赴任当日まで数日間の余裕があったので、その間図書館へ通い詰めた。はじめて沖繩についての諸々の本を手許にしたとき、その一冊が、なんと新鮮で眩しかったことか、夢中で読み漁った。単身赴任には一抹の不安もあったが、それも日増しに憧憬に変わっていったと思う。

月日の経つのは早かった。或る日、「益子焼」について教えて欲しいと言われたことがあった。陶芸には全くの門外漢であったため、浜田庄司や柳宗悦・柳田国男について、詳しく教えをいただくことになってしまったことは、誠に汗顔の至りであった。沖繩では、陶工で人間国宝に選ばれた方は存在しないという。しかし今はふさわしい方がおられると、折を見てご案内をしていただけということであった。

やがて沖繩の生活にも終わりが来た。それは、日航ジャンボ機の墜落事故があった年である。又金城次郎氏が、人間国宝に選ばれたと、新聞紙上で知ったのもそれから間もなくのことであったと思う。力感あふれた魚紋や海老文を象る壺を眺めていると、勇気がわいてくるから不思議である。

# 次世代へつなぐ デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブとは過去や現在の歴史遺産や文化遺産などを、劣化しないデジタル情報で記録し、次世代の人々に伝え、残していくようにする取り組みのことです。

図書館には様々な貴重な資料が保存されています。しかしその一部は、頻繁な利用や書庫の老朽化による保存状態の悪化などで、消滅の危機にさらされています。

宇都宮市立図書館でも、所蔵している古文書の虫干し【1面写真2】や修理などを行い状態の保存に努めています。劣化を完全に食い止めることはできません。

【1面写真1】  
そこで近年、国立国会図書館を始めとする各地の図書館では、資料をデジタル化し、デジタルデータを閲覧用として提供することで、原資料の保存をはかる取り組みを行っています。宇都宮市立図書館では、平成27年度より、宇都宮の歴史を伝える貴重な地域資料を中心にデジタル化を行っています。



『宇都宮市勸業要覧 大正十四年』  
宇都宮市/編 1925年発行  
宇都宮市の産業に関する統計



小川家文書

『覚(桜田門外の変に關して)』

安政7年(1830)年3月3日、江戸城の桜田門外で大老が暗殺された事件について知らせる書簡。地方の村にあっても江戸の情報を敏感に受け取っていたことがうかがえる。

他にも絵葉書、地図、古文書など約180点をデジタル化しています。中央・東・南図書館の利用者。パソコンで閲覧いただけますので各館でお申込みください。なお今後はホームページ上での一部公開も行っていく予定です。

■デジタル化に関するお問合せ

中央図書館へ

## 第5回南としよかん

### 子どもフェスティバル

4月23日(日)に「南としよかん子どもフェスティバル」を開催しました。この日は天候にも恵まれ、これまでで最多の、およそ6,400人の方にご来場いただきました。今回の音楽会はジャズ。小さなお子様にも宇都宮らしさを体験していただくのではないのでしょうか。

## 赤ちゃんから楽しめる音楽会 ↓



↑ おはなし会スペシャル

## ◎主な内容

赤ちゃんから楽しめる音楽会/司書の仕事体験/ピブリオバトル/バルーンパフォーマンス/おはなし会スペシャル/お茶会/種まき体験/おりがみ教室/クイズラリー/工作教室/ネイチャークラフト・エコでえ〜ずストップ温暖化!・けんこうクイズ・食育クイズ・昔あそび工作・みなみちゃん&ミヤリー&とちまるくん記念撮影/ミニ新幹線・ミニソーラーカー/消防車がやってきた



↑ 予約が入った資料を探している様子

予約とは、貸出中の資料や、市内の他の図書館、生涯学習センター図書室にある資料を、希望する利用者の方に準備することです。毎日、たくさんの方の予約を受け付けています。

予約は、「予約・リクエストカード」や、利用者用検索機(OPAC)・図書館ホームページから受け付けています。

図書館では、毎日、予約が入った資料の一覧を基に、書架から資料を探しています。予約が入っている資料を返却処理すると、予約をした方に資料が確保されます。その後、受取希望館へ送付し、受取館からメールや電話で連絡をします。取置期限は、連絡をした日から10日間です。

こうした日々の様々な作業が、利用者の方に、より早く資料を提供することにつながっています。



~予約編~

# 図書館サービス あれこれ

## 東図書館…ビジネス情報提供サービス 「うつのみやブランドコーナー」(宮染め)編

東図書館2階にある「科学・技術・ビジネス資料室」では、ビジネス情報提供サービスの一環として、「うつのみやブランドコーナー」を設けています。その中から、今回は「宮染め」についてご紹介します。

東図書館では、宮染めの手拭いを60種類ほど収集し、季節などのテーマに合わせて資料室内に展示しています。



季節の展示：春

手拭いの色・柄は、伝統的なものから季節の風物、現代アートを思わせるものまで様々です。実際に手にとってご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



手拭いのコレクション



カラフルな手拭い

### 「宮染め」ってなに？

宇都宮に流れる田川を中心に栄えた染物の総称です。江戸時代に真岡地方で盛んに生産された木綿地を染めるため、染色職人が田川沿いに移り住んだのが始まりと言われ、大正末期には、多くの染色工場があったそうです。

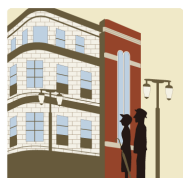
現在は、伴天・のれんを主に染める工場と、手拭い・浴衣を染める工場とがあります。どの工場も、藍などの染料を、注染・浸染などの技法を用いて、手仕事で製品を作り上げています。宇都宮市の誇る栃木県伝統工芸品のひとつとなっています。



実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

### ファイル…20

大正年間建造の帝国ホテルは、大谷石を使って建てられたが、その時の採掘を請け負った地元業者などの名前を知りたい。



### 調べ方

大谷石の歴史については、図書館のホームページにあるパスファインダー「大谷(城山地区)」について調べるには「大谷石百選」(大谷石研究会編/大谷石研究会)に当する本を調べました。『大谷石百選』(大谷石研究会編/大谷石研究会)には、P.13に、旧帝国ホテルに使用された大谷石は、亀田が設立した大日本亀田組の手で、新しく開発された旧帝国ホテル専用の採掘場「東谷石材」から出荷されたとの記載があります。この記事の出版として記載があった『野州土方の物語』(丸山光太郎著/栃木県出版文化協会)には、P.310～317に「晩年の亀田易平と帝国ホテル」として、亀田易平が帝国ホテル建設にかかわっていたいきさが詳しく書かれています。

また、栃木県で業績を上げた人物を調べることができる『栃木県歴史人物事典』(栃木県歴史人物事典編纂委員会編/下野新聞社)のP.200に亀田易平の記載があり、旧帝国ホテルに使用された大谷石の採掘石工事の施工と紹介されています。

### 回答

旧帝国ホテルの建設に使用された大谷石は、亀田易平が設立した大日本亀田組によって採掘された。

### 参考資料

「大谷(城山地区)」について調べるには「ブックリスト」【市立図書館ホームページ】<調べ物相談>パスファインダー(調べ方案内)【

# しせつめい

## 第2回

### 栃木県立がんセンター患者図書室「こやま文庫」

栃木県立がんセンターは、昭和61年9月、がんの高度専門病院として開院しました。

管理棟1階には、



職員図書室が開設されていましたが、平成14年12月、センター所長を務めた小山靖夫医師（現センター名誉所長）が退官時、医学書を寄贈されたことをきっかけに患者図書室「こやま文庫」が、この職員図書室の一面に開設されました。

なお、現在「こやま文庫」は、管理棟内で職員図書室からは独立しています。

#### ■特徴

小山名誉所長が寄贈した医学書約500冊の他にも、一般的な医療図書・各種がん関連図書・医学辞典・雑誌・患者団体会報などがあります。



小山名誉所長寄贈図書

また、パソコンでのインターネット検索やビデオ・DVDの視聴も出来て、図書ボランティアのサポートも受けられます。

#### 医療図書がズラリ!!



さらに、もうひとつの特徴として、図書室内で毎週水曜日から午後1時30分から午後3時30分まで「こやまカフェ」を開いています。

このカフェは、小山名誉所長とお茶を飲みながら、病の悩みなどを語れるカフェで、どなたでも自由に参加できます。

小山名誉所長は、「病気で不安を抱えている人も、ここで自分の気持ちを話し、また同じ仲間がいると分かることで、病気に対する気持ちが前向きに変わります。患者さんの話を聞くことが、何よりも大切なことです。」とおっしゃっていました。

曜日	時間	
	午前	午後
月・木	10:00~12:00	13:30~15:30
火・水・金	10:00~12:00	13:00~17:00
土・日	休み	

※開室時間 10:00~12:00/13:30~15:30に、図書ボランティアの方がいます。

#### ■利用するには

「こやま文庫」内は自由に閲覧できます。患者以外の方でも、他の病院に通われている方や地域の方もご利用いただけます。

図書資料の貸出を希望される場合は、図書ボランティアに申し出て下さい。貸出票にご記入の上、貸出いたします。

貸出期間は原則2週間です。通院の方はご相談ください。

#### ■小山名誉所長から一言



患者の方でなくても、どなたでも自由に入る事が出来ますし、本の貸出も行っていきます。カフェでのご相談も受け付けていますので、気軽にお越しください。

#### 栃木県立がんセンター 患者図書室「こやま文庫」

- 所在地 〒320-0834 宇都宮市陽南4-9-13
- 連絡先 028-658-5151 (代表)
- 休館日 がんセンター休診日 (土・日、祝日、年末年始)
- 開室時間 右上「開室時間」の表をご覧ください。
- ホームページ <http://www.tochigi-cc.jp/jss/cancer/02.html>

#### 館報としょかん 第214号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>  
(編集発行)

中央図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL028-636-0231
東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL028-638-5614
南図書館	雀宮町56番地1	〒321-0121	TEL028-653-7609
上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL028-674-1123
河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL028-673-6782



#### ◆編集後記

「いつでも誰でも自由に」貴重な地域資料を閲覧いただけるように図書館ではデジタル化を開始しました。そのほかに、国立国会図書館のデジタル化した資料も閲覧いただけます。ぜひ、一度ご覧下さい。(中央)